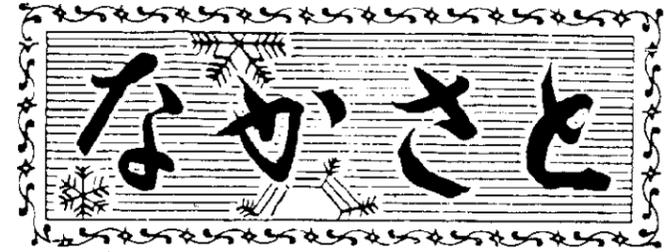


発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回25日
定価 1部 5円



私たちの村

人口	7,295 (-4)
男	3,622 (-45)
女	3,673 (+49)
世帯数	1,672 (-2)

6月31日現在



たより 井ノ川浩次 (如来寺出身 沼田市在住)

私は、今から四十年前の昭和十一年、兄の経営して居りました井ノ川酒造場の沼田売場の主任としてこちらに参りました。いろいろ事情もありましたが、第一の理由は昭和十年の十一月頃から降り初めた雪が史上最高と言われる大雪になって年末年始のお酒の販売配送に困却し、経営面でも誠に苦しい処迄追込まれたことでした。私は決して商人の仕込みがあつた訳ではありません。然し一家の興廃にかかわるとなれば何がなんでも頑張らなくてはならない。そこで知らぬ他国を東へ西へと努力を続けた。親戚も学友も友人もいない。只雪が無いから自転車だけで廻るには好適であつた。然しながらあとの鳥が先になる

◇油紙に火がついた様
◇出雲の帳面外れ
◇噂も方便
◇絵にかいた
◇ぼた餅の様
◇おっぴつ子
◇(背中の子)に教えられる
◇おっこうま(牡馬)に仔を生ませる様
◇蛙の子は蛙

◇あとの鳥が先になる
◇口おこり
◇小糖三合あつたら養子にいくな
◇三寒四温
◇親切を仇で
◇かえす返
◇だんだんよ

村のことわざ

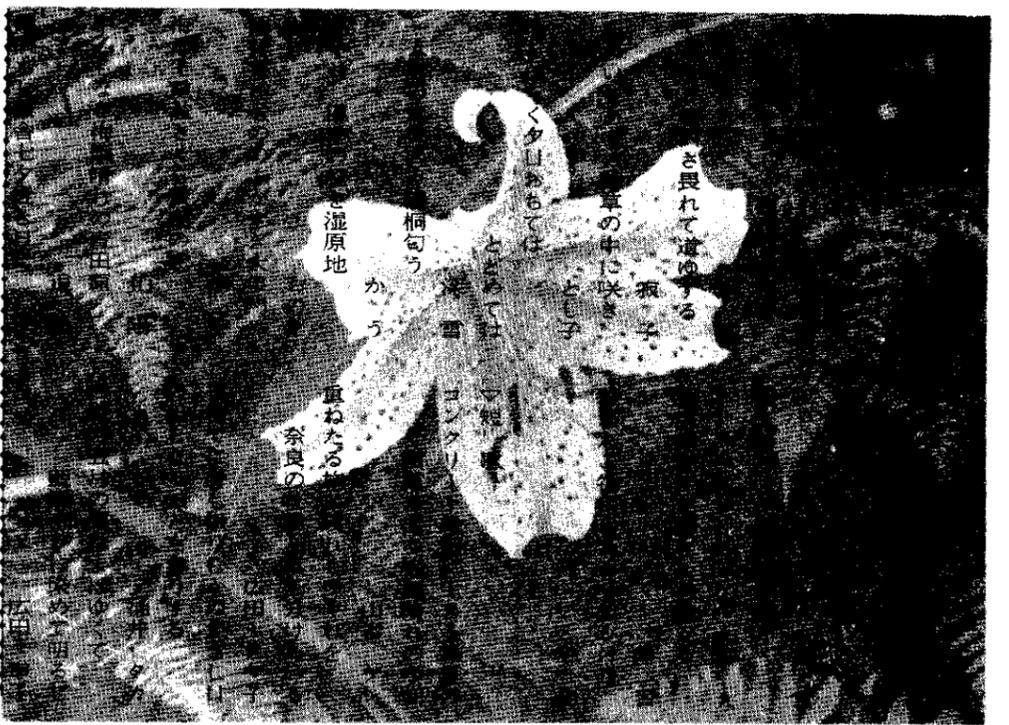
小柳 定夫採集

くなる法華の太鼓
◇時世と時節
◇軟化馬の様
◇二束三文

ました。昭和二十五年配給制度廃止となり、いよいよ自由営業が認められる事になりましたので思い切つて酒類味噌油を主体とする御問屋利根食品株式会社を設立いたしました。現在に至りました。群馬県は新潟県と接している関係養蚕や織物の関係等から人口の三分の一は新潟県関係と言われて居りますが、私のような経験をもつ人が沢山居りますので終戦直後は群馬県の各地に新潟県人会の発足が見られました。いまは群馬県でも知事が新潟県人である他各地に於て有力な公職にある人、大企業を持つ人が沢山居りますのでほんとうに力強く楽しい集いです。群馬での新潟県人の発展振りは高く評価されて居り、おかげ様で歌の文句じゃないけれど越後の風もいやという程群馬にしたしんでしまいました。最後に中里村の発展を願つて御挨拶いたします。

人生往来

◎産声
南雲 新二 清信 芋川
高井 裕子 利明 市之越
江口 有子 一衛 千瀬



成人おめでとう

盛夏の中里村成人式

例年七月に実施されています中里村成人式が、今年も七月十七日総合センターで実施されました。花で飾つた会場にはスカッととしたサマースタイルの新成人五十七人が揃い、豪華とは言えないが、新鮮で活気に満ちた雰囲気の中で式典は進みました。

村長・村議会議長の祝辞を受けて、新成人代表、桑原雅一君が「誇りと自覚をもって、皆さんに期待される人間になるよう努力します。」と力強い誓いの言葉を述べました。つづいて桑原貞子先生(医師、簡易裁判所調停委員)の記念講演「二十才になって学ぶこと」が行われ、次のような話がありました。

桑原先生の話

私たちの生活行動を大別すると、「生きる」「働く」「活動する」「学ぶ」というふうになるが、そのなかで「学ぶ」という行動を大切にしてほしい。学生時代で勉強は終わりではなく、生涯「学ぶ」という気持ちが必要である。次に世の「親」はわが子の将来についてどう願っているか

一、健康であれ、
二、社会的責任の果たせる人になり、
三、頭も良く、たくましい人になり、
四、情操豊かな人になり、
(NHKアンケートより)

「情操豊かな人」であつて、真に相手の苦勞を理解し、優しい思いやりのある人になってほしい。そして特に成人に必要なことは、
①精神的、②社会的、③生活的、
「自立」である。

他の人との円満なつきあいができ、自己管理ができる人になってほしい。

「これからの社会が望む人」
行動力のある人、幅広い知識を有する人……とあるが、一番強く望まれるのは「調整力」の優れた人であると言われている。コンピュータやオートメーション化が進むし、そしてまた社会構成はますます複雑になり、そこで必要とされるのが調整力である。

講演の後は祝賀会で、お互いに祝福しあい、同級生等の仲間間で明日に向かって連れ立って行きました。

第四回郡市PTA研究会報告

中里村P連事務局 佐藤 徹

PTA活動が始まってから久しいが、活動をとりまく問題はつねに古くかつ新しい。

第四回郡市PTA研究会は、PTA活動を活発にするにはどうしたらよいか」を研究主題にして七月十五日、田沢小中学校を会場に中里村PTA連絡協議会の主催で、約四百名が参加して行なわれた。この度の研究会から、県の手を離れて郡市P連独自の計画で行なわれることになったのである。

研究主題にそって、活動計画、教養活動、広報活動、校外活動の四分科会を構成し、さらに会員規模別の分散会に分け、切実な問題の具体的な解決方を究明しようと試みたのである。とくに本研究集會の特徴は、会員の規模別分散会を構成したところであって、参加された会員各位は自分のPTAと事情が似ているところから、お互いが感じている切実な問題について非常に活発な討論を行なった。

また、郡市各単位PTAの参加意欲は大変に旺盛であって、資料提供なども積極的に行なわれ、そのことがまた分散会の討議を盛り

せ会を持つなどして参加の態様を自ら求めていた。

当日の分科会の討議内容に触れるスペースがないが、いずれ研究集録を刊行することになっているのでそちらにゆずりたい。

助言者の「活発な討論によって、充実した気持ちを持ち得た」という感想が、当日の雰囲気をよく現わしていると思う。

恵まれた未利用資源を活用しながら現在の耕種農業を柱とし、肉用牛飼育を入れた農家所得の向上と豊かな村づくりを目ざす、いかなれば将来の希望に燃えた村ぐる

村の畜産振興の正しい発展のために

この事業である訳です。この事業が円滑に運営されるために、村は貸付審査委員会(七名)及び牛の資質を守り向上させ、産地としての価値を高めて行くために評価委員会等を設置して、飼育農家が安心して牛を育てられることを願ってまいりました。

これまでに借受け者からの報告によって、多種多様な問題を公平なる審査により一件の異議もなく解決してきましたが、昨年十月、

村有牛の確認点検に回った際、たまたま村有貸付牛が借受農家の不注意な気持ちから、村に無断で他に売却されてしまうということが起きたのであります。このことは、勝手な報道等により畜産農家の意欲にプレッシャーをかける結果となつたのであります。

去る四月十四日の村、及び両農協の主催による畜産者会議において、この件については是非村民に正しく知らせたい、という強い要望があったのでその概要をお知らせします。

私たち審査委員会では前記の如く、この貸付事業が正しく継続運営するために、早速売却された牛の流れを追ってみたのですが、すでに屠殺されていることが確認されたのであります。

村の財産が無断で売却され、しかも屠殺されてしまったというのですからことはややこしくなつたわけですが、しかしながら穏便な解決で正常な姿に戻すべく前後六回の会議を聞きましました。守られなければならない、村民との約束事である貸付規則の正しい運用と、同

時に飼育農家の立場も理解し、当事者とも三回話し合ったのですが、なにしろ屠殺されてしまったのは元牛の返納は不可能であり、貸付規則に基づき同資質程度の牛の返納を再三求めてまいりました。

しかし不幸にして、会計決算期を控えて問題解決は不調のまま経過し、穏便な解決を基本とした審査会の態度を理解してもらえないまま、審査会の努力の限界を確認し、答申の決定をみるに止むなきに至つたのであります。

その後、村は厳正な態度とともに、円満で正常な回復に努めております。審査会も問題の円満な解決ができることを依然として願っているものであり、当事者の反省と善意を強く期待しているのです。一部は村民を訴える」とか、新聞報道等に惑わされることなく、飼育農家は自信と安心を持って飼育に力を注いでいたいただきたい。

村は村民を訴えてはいないはずですが、住民はすべてを正しく知り、正しい判断によって、一歩でも心穏やかな村づくりの方向で畜産振興を育てるために、この事業への温かい理解と御協力を心から願って止みません。

県大会へ出場

青年大会

七月十七日、小出町を中心に県青年大会・中越大会が開催され、中里村からは、郡予選大会を勝ち抜いた野球と籠球の二種目に参加し、籠球は惜しくも敗退したが、野球は順当に勝ち進み、県大会への出場権を獲得した。

試合結果

- ◎野球中里村5-2三島郡 中里村4-1十日町市
- ◎籠球中里村54-64小千谷市



勝った野球部は八月二十日、二十一日岩船郡で開かれる県大会に出場する。

中学生体育大会

中学生の体育大会では、先に陸上競技の中越大会が開催され、田沢中学校から郡市予選を勝ち抜いた

野球はエース大島が絶妙なピッチングで相手を

おさえ、攻めては練習の成果を充分発揮し、見事

バントで圧勝した。

新潟地方方法務局長岡支局・人権擁護委員協議会主催による人権相談所が下記により開かれます。

人権相談のおしらせ

- 1、日時 8月26日(金) 午前10時から午後3時まで
 - 2、場所 中里村老人福祉センター
 - 3、料金 無料
- 相談担当者 人権擁護委員 法務局職員

身まわりの問題で困っている方、相談内容は秘密を守ります。絶対他人に洩れることはありませんから気軽にありあけお掛け下さい。

20才になって考えること
四年間の生活が大きなプラスとなっている。時には、うまくいかないこと続きで自分不幸だと思ったがそう考えたら本当にそう思いこんでしま

いこうかと考える。今、新たな目標はもっているが、それが果たされるか否か、自分に合った道なのかまだ分らない。けれど人生には常に目的が必要であり、少々できそうにないことでも努力なしにきらめかないことである。苦しければ苦しいなりにその人自身に潜在する力を鍛え、うんと経験を積んで自分の考えを主張できる人間になりたいと思う。受験ノイローゼというものも自分を主張できない弱さ、世間の目に対応できな

会費 七百元
中里書道会